

Photo ふなばし

とくしゅう
PART1

海老川と 橋づくり 夢のある

- 市政トピックス ● 街角ホットニュース
- 私のカメラアイ ● WE ARE IN FUNABASHI
- サークル通信 卓球クラブN・T・C/塚田パンの花



まちなかの文化財/ワンパク王国だより
ふなばしの民話/ビデオ講座



長寿の橋

とくしゅうPART2



前原団地

ふなばしの団地



高根台団地

vol.26

広報ふなばし写真版

JULY

隔月年6回発行

7月



海老川には多くの生物や野草が見られる。ジョギングロードの堤防にはそれらの絵も描かれた。



とくしゅう PART 1
海老川と
夢のある
橋づくり

船橋のほぼ中央を南北にのびる2級河川の海老川。今、着々とその姿を変えようとしている。



かわいい小人の楽隊が道行く人々を歓迎してくれる。(新海老川橋)



河口から二番目の橋は八千代橋。この辺りにはまだ懐かしい雰囲気が残っている。



川の流れをスムーズにするため、カーブもゆるやかに直されている。



着々と工事が進められる万代橋。工事期間中ご迷惑をおかけします。



本町通りに架かる海老川橋。ここは昔、舟を並べて橋の代わりにしたという船橋の地名発祥の地でもある。



昭和65年の完成に向け、拡幅工事が進む海老川。(栄橋付近)



国道14号に架かる船橋橋。赤ちゃんを抱いたお母さん海ガッパが遠く東京湾を見る。



昨年7月25日には海老川橋の高欄完成除幕式が行われた。高欄には世界最長寿の泉重千代さんの手形が埋めこまれた。手形に手を合わせる大橋和夫市長(左)と林利嗣市議会議員。

市内金杉町にある御瀧山金蔵寺(滝不動)内の湧水を水源に、いくつかの支流を合わせて市内を貫流、東京湾に注ぐ海老川。「船橋」という地名の由来にも登場するこの川は、古くから多くの人々に親しまれてきました。しかし、この海老川も、大雨の度に水があふれ出し、周辺の人々を度々困らせてきました。その海老川が、今、着々とその姿を変えようとしています。

都市基盤の整備を重点施策とする大橋和夫市長は、特に、海老川や長津川の改修には力を入れ、国や県に強く働きかけ、事業の早期完了を図っています。そして昭和61年、海老川が、国の激甚災害対策特別緊急事業の適用を受け、事業の完了が大幅に早まることになりました。「うらみの川から希望の川へ」。昭和65年の完了に向け、現在の川の拡幅工事が急ピッチで進められています。そして、この工事に伴い、海老川に架かる11本の橋も架け替えが行われています。

市では、現在、うるおいのあるまちづくりを推進していますが、その一環としてこの新しい橋を、往來する人の心がなごむような夢のあるものにし、とうとう事業を行っています。すでに、昨年市制50周年を記念し、本町通りの海老川橋に、世界一の長寿者だった泉重千代さんの手形が飾られるなど、完成している6本の橋は、新しい船橋の名所として道行く人々に親しまれています。この橋のデザインや橋を彩るプロポーション像やレリーフなどは、市内の芸術家の皆さんのご協力をいただいています。また、現在、海老川とその周辺を市民の憩いの場にしようという計画が進められています。海老川上流の八栄橋から運動公園までを「せせらぎと彫刻の公園」として整備する大変楽しいものです。このように、市民に愛され、親しまれる川に変わりつつある海老川。今号では、その海老川にスポットをあててみました。

前原団地

昭34~35 123,000M²
賃 1,428戸

高根台団地

昭35~38 491,000M²
賃 4,650戸 分 220戸

南海神団地

昭39 10,000M²
分 120戸

習志野台団地

昭40~44 233,000M²
賃 2,043戸 分 848戸

夏見台団地

昭40~42 72,000M²
分 690戸

若松団地

昭43~44 200,000M²
賃 1,340戸 分 576戸

賃・賃貸住宅 分・分譲住宅

とくしゅうPART2

ふなばしの

団地

金杉台団地

昭44~45 234,000M²
賃 449戸 分 1,098戸

行田団地

昭49~50 130,366M²
賃 1,497戸 分 240戸

芝山団地

昭49~51 440,135M²
賃 1,657戸 分 590戸

千葉ニュータウン 小室ハイランド

昭42~53 121,375M²
賃 401戸 分 880戸

東葉高速鉄道の開通が待たれる芝山団地



船橋市は全国でも有数の人口急増都市として知られますが、その人口の増えた要因は何んといっても団地の建設とその周辺開発が活発に行われたことによるでしょう。昭和35年、市内に初めての団地、前原団地が日本住宅公団（現・住宅都市整備公団）によって建設されたのを皮切りに、新京成沿線を中心として全国でも有数のマンモス団地が次々と建設されてゆきました。

その前原団地が出来て28年。完成当時はほっそりと弱々しかった街路樹も今では美しくたくましくなり、そして、ここで生まれ育った子どもたちはおと社会人として立派な活躍をしています。当時は新しさためずらさだけだった団地の風景も、今ではすっかりこの街としての落ちつきと調和が見え、私たちにとってすっかり馴染みものとなりました。



5月9日に完成した富士見橋。四季を表わす4体の女性像が豊かな表情をみせる。



昔の田園風景を表わした向田橋のレリーフ。



11本の橋のうち一番北にある向田橋には2羽のキジが仲良くエサをついばんでいる。



八栄橋はスポーツの橋。様々なスポーツのレリーフが飾られている。



八栄橋のあせー平君のブロンズ像。信号待ちのドライバーの人気物だ！



休日のジョギングロードは、走る人たちでなく散歩を楽しむ人々にぎわう。



風にゆれる木々のささやきは、道行く人々にやすらぎを与えてくれる。



海老川には毎年、コイが放流されている。30cm以上に成長したコイの群れも見られる。



今年で2回目を迎えた高形まつり。さわやかな風が吹く川岸ではパカ面踊りが披露され、参加者から盛んな拍手が聞かれた。



夏休みになって、団地の中には子どもたちの姿が目立つようになった。こんな一時が故郷の記憶として残るのかもしれない。(芝山団地で)



夏見台団地の静かな昼下がり。緑のジュータンが美しい。



「いつもこの公園で遊んでるよ!」
夏見台団地の元気な子どもたち。



芝山団地には、消費者が安心して買物ができる公設小売市場がある。



昭和35年、日本住宅公団の手により市内に初めて誕生した前原団地。この当時、団地に住むということは、水洗トイレ、ダイニングキッチンなど先進の生活様式を手に入れることで、サラリーマンのあこがれだった。船橋の団地には現在約64,000人、人口の約12%の人々が住んでいます。



芝山団地の一部では、水の国産の試みとして汚水を公園の水などに再利用する「中水道システム」を試験的に導入している。一戸あたりの水道使用量が2割節約できるという。



昭和52年4月入居を開始したニュータウンに次いで新しい。



芝山団地。市内では千葉



JuJuきたならで今夜のおかず
を買求める。(習志野台団地)



緑豊かな習志野台団地。最近は大ムクドリが大量に住みつき、住民を悩ませている。



団地内の生活の足としてバスは欠かせない。(習志野台団地)

て、大橋和夫市長は「船橋に住む多くの人々が日本の経済(国)を支えている。それには、船橋の人と街が健康であることが最も大切。」と数々の懸案事業を現在急ピッチで進めている。
来年2月になると2DKのSさん宅のベランダには、また新しいおしめがたくさん並ぶ。

昭和30年代、目覚ましく発展した工業や経済活動の活発化は、人口の急激な都市集中化現象を生んだ。都心からわずか25キロ圏内の船橋、特に新成八丁線は住宅の好適地として大いに注目され、日本住宅公団(現、住宅・都市整備公団)による団地建設や民間企業による宅地開発、住宅建設が活発に行われていった。船橋は現在人口約52万人。この25年間で人口が4倍にも増えた全国にも名だたる人口急増都市となった。そして、その4分の3はSさんのように他から移り住んで来た人々である。しかし、船橋に初めて団地が出来た28年。この団地で生まれ育ち、この団地をかけたえのない故郷とする人々が次第に増えてきた。
そして、今、新しい第2の発展期を迎え

「団地の中って以外と緑が多いんですよ。僕なんか東京へ勤めに行ってもすけど、例えば昼休みなんか外へ出て、会社の周りには緑も無いし、公園も無い。土曜、日曜日は休日でも家にいますけど、おかげでとてもリフレッシュできるんです。子どもを連れてすぐそばの公園に行ったり買い物に行ったり……。普通の住宅地よりも緑はずっと多いんじゃないですか。それとんと言っても鉄道が近いのがいいですね。」
北海道の親元を離れて市内の高根台団地に住むようになって8年目のSさんは、現在、夫婦と子どもふたりの4人家族。「近々もうひとり増えるんです。これで子どもたちはみんな船橋っ子です。」とニコリ。

Sさんの住むこの高根台団地は、前原団地(昭和34、35年建設)に次いで市内で2番目に建設された関東有数のマンモス団地。
昭和30年代、目覚ましく発展した工業や経済活動の活発化は、人口の急激な都市集中化現象を生んだ。都心からわずか25キロ圏内の船橋、特に新成八丁線は住宅の好適地として大いに注目され、日本住宅公団(現、住宅・都市整備公団)による団地建設や民間企業による宅地開発、住宅建設が活発に行われていった。船橋は現在人口約52万人。この25年間で人口が4倍にも増えた全国にも名だたる人口急増都市となった。そして、その4分の3はSさんのように他から移り住んで来た人々である。しかし、船橋に初めて団地が出来た28年。この団地で生まれ育ち、この団地をかけたえのない故郷とする人々が次第に増えてきた。
そして、今、新しい第2の発展期を迎え



イラストがかわいい習志野台団地。



団地の中には様々な商店が並んでいる。(行田団地)



豊かな緑も団地の財産。(金杉台団地)



広大な行田公園で、朝の散歩を楽しむ人々。行田団地に隣接するこの公園は、団地に生活する人だけではなく、周辺に住む市民の大切な憩いの場となっている。



一つの団地の中にも様々なタイプの建物がある。敷地の形や周辺の状態を考慮し建物の形に変化をつけることで団地に「まち」としての表情が生まれる。(高根台団地)

昭和46年8月に入居を開始した金杉台団地。



昔の田園地帯は近代的な高層住宅街に変ぼうをとげた。(小室ハイランド)



緑台グリーンハイツは民間が開発した団地としては2200戸と市内で一番規模が大きい。



京葉道路船橋インター近くの南海神団地。市内で一番小さい団地。



一市二町二村にまたがる千葉ニュータウンの一角を占める小室ハイランドは、昭和54年3月に入居が始まった。



長さ400メートルの若松団地の2-6-1号棟は、団地の建物としては市内で一番長い。

夢のあるイラストが描かれた若松団地の給水塔。



あっ！団地が危い！でも大丈夫。高根台団地にあるこの公園は怪獣公園という愛称で呼ばれている。



一日の仕事を終え、帰路につく人々。昭和61年、京葉線の部分開通により、若松団地の交通の便は一段とよくなった。



東金街道から少し入ったこの辺りは静かな住宅街。

梅屋敷——何たって名前がいい。正式の地名ではないが、土地の俗称である。船橋大宮の急坂を上り、県立船橋高校を過ぎて、東金街道と成田街道との分岐点の先、両街道に挟まれた形で、今はすっかり住宅街になっている一郭に、梅屋敷があり、いつか地名にもなつて長く呼びならわされてきた。

市史によれば、文化文政の頃、土地の森田吉兵衛という人が「二町歩ばかりの土地に梅の木を植えて其の実を採り売っていた」という。明治になってからも結構盛んだったようである。二十七年、八年日清役の際には梅干を作り軍人に提供して居ったという。

広漠たる幕府御用の放牧地を背景に、この前原の丘陵一帯、季節になると白梅が見事なまでに一面に咲き誇り、また、梅雨が明ければ、たくさんの使用人、手伝いの人達が梅林のあちこちに分け入り、青い梅の実を叩き落とし、桶に入れ袋に詰め、忙しく立ち働いていたことであろう。そして作業の合間には手を休めて通か富士を眺めながら、近頃の暮らし向きのこと、息子や娘達のことなど、時間を惜しんで語り合ったことであろう。

今、梅屋敷にその梅は無い。当時の思い出もまた、遠く時間の彼方へ忘れ去られようとしている。

(文・大木勲)

新しい文化財

②4 梅屋敷境界

(前原西3丁目・西寄り的一部)



この辺り一帯が梅屋敷であった



若松団地の広場にあるユニークな池は年に一度まつりのときだけ水が入る。



前原団地に次ぎ、市内2番目の公団住宅として昭和36年7月に入居が始まった高根台団地。メインストリートには緑がいっぱい。

市政トピックス



豪快なみこしのゆすり込み。見ているだけでも手に汗握ります。



街に明かりがともるころ。いよいよ民謡パレードが動きだす。

デンマーク体操がやってきた ホーセンス市体操チーム来船

デンマークのホーセンス市から、「デンマーク体操」を通じて国際交流を深めようと、体操チーム一行37人が、7月17日(日)から1週間の予定で船橋市を訪れました。この体操は、長い冬の間、運動不足になりがちな農村青年の心身の健康を保つために、今から90年ほど前に考案されたもので、日本のラジオ体操の源流とされています。一行は、習志野台第二小学校と市立船橋高校でリズムカルで躍動的な体操を披露し、中でもアクロバットのような演技には驚きと賞賛の熱い拍手が生徒たちから贈られていました。



産業まつり(本町通り)で演技する体操チーム。男性の力強さ、女性のしなやかさが道行く市民の視線を集めていた。



児童がつくった折鶴のレイを首にかけ入場行進。



体操チームのリードで突然フォークダンス。足を踏まないように。



バランスの持つ美しさ。これがデンマーク体操の魅力だ。

船橋の夏、今、最高潮!! 118万人の人出でにぎわった 第21回船橋産業まつり

船橋の夏の風物詩「船橋産業まつり」が、市内5会場で行われ、のべ118万人の人出でにぎわいました。今年で21回目を迎えた「船橋産業まつり」は、7月9日のミスふなばしコンテストを皮切りに、めいど・いん・ふなばし(22日~24日)、ジョイ・アンド・ショッピングフェア(23日)と続き、市民まつり(24日、一部23日も)で最高潮に達しました。フィナーレを飾る「私がおける花火大会」は、8月6日に行われます。



見事なバカ面踊りを披露してくれた坊やに大橋和夫市長もにっこり。



市民まつりの締めくくりはやっぱりバカ面踊り。



ミスふなばしには三井亜佐子さん(中央)、ミスささかには大谷祐子さん(左)と石原知恵子さんが選ばれました。



見事な七夕飾りが印象的な二和向台会場。

大盛況!! 市立養護学校の 夏まつり

今年、創立10周年を迎えた市立船橋養護学校で、7月16日(出)、恒例の夏まつりが行われ、卒業生など大勢のお客様でにぎわいました。当日は、出陣、のど自慢、盆踊り、みこし、模擬店など楽しい催しがいっぱい。また、生徒の皆さんが1か月かけて用意した、ボウリングや輪投げなどの各ゲームコーナーでは、お客様との楽しい交流がみられました。このまつりが終わるといよいよ夏休みです。



盆踊りでは全員が大ハッスル。



校内ではPTAバザーなども行われました。

ワンパク王国 ひまわりまつり

8月21日(日)⇒31日(水) ※22日・29日も開園

- ・自然観察教室
8月21日⇒29日(28日を除く)
- ・ぞうけい教室
8月21日⇒31日
- ・ワンパクっ子カブトムシ探し大会
(7日)
- ・ワンパク田んぼ泥んこまつり
8月21日・28日
- ・ワンパクっ子ローラースケート大会
(25日)
- ・宝さがしゲーム大会(31日)

問合せ ワンパク王国 ☎0474(57)6627



いろいろな遊びがまっている。

夏だ、プールだ! 海浜公園だ!

海浜公園前の砂浜ではいろいろな貝を見つけることができるゾ!



- | | | |
|----------------------------|---------------|-------------------------------|
| お楽しみイベント | 料金 | 問合せ |
| 8/13 出 スピルバンショー | 大人 700円 | 財船橋市海浜公園管理協会
☎0474(35)0828 |
| 8/20 出 みんなおいで「スーパーおもしろクイズ」 | 小・中学生 400円 | |
| 8/27 出 モンチッチショー | 幼児(4歳以上) 200円 | |
| 9/4 日 スピルバンショー | | |

京葉線が開通して一層便利になりました。さらばーにも近く、買い物が増え、路上駐車が目立ちます。火事の際消防車が入れるかどうかが、それがちょっと心配です。

伊豫田千春さんと長女 理沙ちゃん(若松2)

印内でヘアサロンを営んでいます。船橋には29年居住んでいます。夏はウィンドサーフィンが最高ですね。この辺は東京にも近いですが、競馬が開催されると道路にゴミが散乱して困ります。

米光基幸さん(印内1)

昭和58年からここに住んでいます。病院や公園が近くにあり、買い物も便利。いい所ですね。ケーキを作ると近所のお友達を呼んでおしゃべりをするのが楽しみのひとつです。保育料が高いのが気になります。

綿引久子さんと長女 舞ちゃん(習志野台6)

ちょっとお話を伺ってみました

街角ホットニュース

ペタンクの世界大会へ 船橋チームが出場!!

9月21日からイタリアで開かれるペタンクの世界大会に日本代表として出場するのは、森田則男さん(宮本4)、小森美飯さん(本町5)、並木明さん(船橋市職員)の3人。ペタンクは、日本ではまだなじみが薄いスポーツですが、ヨーロッパではとても盛んで、公園などでゲームに興ずる姿をよく見かけます。三人は、現在、大会に向け猛練習中。大会での好成績を期待したいですね。



やる気満々の船橋チームの皆さん(左から森田さん、並木さん、小森さん)



ルールは単純明解。それだけに奥が深いゲームだ。



ペタンクのボールとビュットと呼ばれる的。



得点は、的に一番近いボールのチームのものになる。目測できない場合は、メジャーの出番となる。



スタート直後に大きなギャップがある。ここでつまづくと好タイムは期待できない。

迫力満点! ラジコンカーの関東大会

6月19日(日)、市立医療センター近くのフタバサーキットで、ラジコンカー(オフロード部門)の関東大会が開催されました。関東各地から強豪約70台がエントリーし、2WDクラスとオープンクラス(2WDでも4WDでも可)に分かれ、ラップタイムを競い合いました。この日は好天に恵まれてコースが徐々に乾きはじめ、各チームともタイヤの選択に苦慮しているようでした。



愛車を追う鋭い目。一瞬のミスが命とりになる。



生徒のハンカチを藍染めする鈴木さん。



プロの技術を吸収しようとする熱心に説明を受ける大穴中の皆さん



長男の保雄さんの作業を真剣に見学する先生方。

中学校の美術科の先生が 染色家・鈴木富雄さんを訪問

7月13日、市内の中学校の美術科の先生方が、研修のため、市内宮本で染色を営む鈴木富雄さんの仕事を訪ねました。鈴木さんは染色52年のベテラン。昭和59年には、下総染小紋が県の伝統的工芸品に指定されています。先生方は、鈴木さんと長男の保雄さんの説明を聞きながら実際の作業工程を熱心に見学していました。また、大穴中の工芸部の生徒の皆さんも見学に来ていましたが、鈴木さんの指導で藍染めに挑戦。見事に染めあがった自分のハンカチに大喜びでした。



天沼は、現在、天沼弁天池公園となっている。

「桔梗、このたびは非常に難しい戦いになった。その方は、一刻も早く、ここを落ち延びるがよい。命があったら、また会おうぞ」といって、頻りにせき立てました。

「おかし、おかし、平将門(たいらのまさかど)に桔梗ノ前(ききょうのまえ)という愛妾(あいせつ)がいました。容姿の大層美しい人でした。将門は、一時は朝廷を淡く位の勢力を持っていた。しかし、依藤太(よとふだ)とやらどうだ(ひでさと)や平貞盛(たいらのさだもり)の軍に敗れ、とうとう滅亡することになりました。この最後の激戦の最中に、敵の弓矢で手傷を受けた将門は、桔梗ノ前の所に現われ



東京湾では昔からオナガザメが獲れる。

ふなぼしの民話 鮫に化身した 桔梗ノ前

(文・村上昭三)

「桔梗、このたびは非常に難しい戦いになった。その方は、一刻も早く、ここを落ち延びるがよい。命があったら、また会おうぞ」といって、頻りにせき立てました。それから、二、三日過ぎました。正観音像を抱いた桔梗ノ前は、漁師町に姿を見せました。そして、海辺近くの漁師の家で船を雇い、船橋浦の遠ヶ澤(とうがみお)までやって来ました。ここでさんぶ(さんぶ)と身を投げ、果ててしまいました。その後、この遠ヶ澤には何時ともなく、これまで見たことのない大きな鮫(さめ)が棲むようになり、これを見た漁師たちは、これはさき(さき)と桔梗ノ前の化身に違いないと信じ、お互いに綱(なわ)を入れたことを戒(いまし)め、この大鮫を大事にしたいことだ。

海浜公園の砂浜がきれいに 豆剣士たちがゴミ拾い運動

7月2日(土)、海浜公園前の砂浜で、笹生剣友会の皆さんによるゴミ拾い運動が行われました。当日は、同会の小・中学生50人が参加、あきカン、あきピンなど軽トラック1台分のゴミを回収。夏を目前にした砂浜はピッカピカに変身しました。同会では、青少年の健全育成を目的に、こうした活動を続けているそうです。



みんなで仲良くゴミ拾い



集めたゴミを前に笹生剣友会の皆さん。

私のカメラアイ

素顔の家族を

(写真と文) 白井 克美 (高根台3)



私は日記をつけるかわりに、日常生活をカメラで記録しています。子どもが生まれてからとくにその機会は増えているようです。私は写真を撮るから1つだけ心がけていることがあります。それは形にはまった俗っぽいものにならぬように撮るということです。写真展などでよく見かける絵はがきのような写真には、本当の美しさではない作られたいや味が見え

てしまい、思わず底の浅さを感じてしまいます。写真は基本的には記録だと思うのです。ときには時代の証言者であったり、1人ひとりの歴史であったりします。対象は何であれ、自分の素直な眼で事物を見ていきたいいつも考えています。ともあれ、私にとっては素顔の家族の写真は何ものにも代え難い貴重な財産なのです。(船橋市写真連盟会員)



サークル通信



「ラケットを握ると年の差を感じません。」と皆さん。学生クラブのように明るく元気なサークルです。

習志野台公民館 卓球クラブN・T・C

「こんなに楽しいスポーツと分かっていれば、学生の時から始めていればよかったわ。」
N.T.C. (習志野台卓球クラブ) に入会した人は決まってこう嘆息します。
N.T.C.は、誕生して今年で7年目。会員数は40人です。すべて女性。入会して初めてラケットを握ったという人がほとんどですが、コーチや仲間が丁寧に指導してくれるので、メキメキ上達。週1回2時間の練習は「あっ」という間に過ぎてしまいます。今年は、船橋卓球協会婦人部団体戦Eランクでみごと優勝。次の目標に向けて、握るラケットにも思わず力が入ります。



つつつき(バックスピンの)練習。皆さんの目は真剣そのもの。

塚田公民館 塚田パンの花

パンフラワーといえば、かつてはパンの粘土を作るまでが大変でしたが、今では製粉会社から専用の粘土が発売され、制作がとても楽になりました。また、乾燥しても弾力のある割れにくい素材が開発され、より細かい表現が可能になっています。「塚田パンの花」は、今年で創立3年目。会員数は31人で、3人の先生が、初心者からベテランまで優しく手ほどきしてくれます。「自分で作ったものを部屋に飾ることってすばらしいと思います。ひとりでもできますが、大勢集まってお互いに教え合えるのが楽しいです。」と生徒さん。ゆりの花を作るのが一番難しいというパンフラワー。みなさんも一度挑戦してみたいいかがでしょうか。



パンフラワー入門はあじさい作りから。



創立3年目の「塚田パンの花」。7月は帰郷のおみやげとしてひまわりのブローチ作りがテーマでした。

ビデオ講座

② 子どもを撮影するには

遊んでいるときの子どもはとっても生き生きといて、ビデオの素材として最適です。そこで今回は子どもの撮影方法について。
子どもの「動き」と「表情」は、それぞれ別なテーマです。無理に両方をひとつのカットで撮めようとするのは避け、まず①ワイド側で動きの全体を撮る。このとき、カメラを振り回さないで済むように充分ワイドで、次に②アップで表情をとらえる。このとき、カメラの位置は「子どもの目の高さ」に。フリンダーを見ていない方の目で周囲をよく観察し、子どもの動きを「予測」して早めに、しかも静かにカメラを動かす。また、③周囲の風景や遊び道具なども、子どもを見て大人たちの表情を途中に入れておくことで、変化が出ていて飽きないビデオになります。



カメラは子どもの目の高さで

(協力：視聴覚センター)

船橋に世界の人形劇がやって来る!

10日 「1988 世界人形劇フェスティバル」
会場 市民文化ホールほか
出演 アンナのペットとワークショップ(カナダ) シャドウ・パペット・ショー(オーストラリア) ザ・マリオンネット・レビュー(アメリカ)ほか
13日・14日 ●人形劇場 アティラ(ハンガリー)/船橋東武 ●チャリンコ劇場(フランス)/らぼーと
11日～16日 人形たちの展示 紙芝居大会(11日) 人形劇公演(15日・16日)ほか/船橋東武
●入場料などくわしくは下記までお問い合わせください。
●社会教育課 ☎(36)2894
●船橋人形劇・夏の祭典実行委員会 ☎(24)6479
8月10日～16日

あともがき

■船橋の取材ということ、八菜橋から海老川に沿って船橋まで歩いた。今まで聞いたことのない橋や、歩いたこともない路地、海老川に住みついてたカモ、コイなど、またひとつ新しい風景を見た。取材は、自動車を走らせながら、いろいろな取材をするのも、運動にもなり、良いことだと思おう。
■宮本公民館の「夏の夜のハーモニー」を取材した。この三百人劇場はステーションと密着が近く、前の座席と演奏者の息遣いまで聞こえてくる。この日も市内各地の公民館から和太鼓の愛好家やコーラスグループ、吹奏楽団などが応援に駆けつけ、音楽の持つ多彩な表現力を私たちに教えてくれた。(四)



伝統

本町通りのやや海神寄り、JR総武線の陸橋の手前に、昔懐かしいコンロ(七厘)やブリキのちりとりなどを売っている店がある。この界隈では「おとのさん」と呼ばれているこの店を父の春五郎さんがこの場所を継承し始めたのは戦前のこと。

最近夏にコンロが売れるんです

三橋たか子さん(本町1)

と。「このまわりは農家が多かったです。農具や農機具などを売ってました。前の道じゃ子どもたちがよく遊んでました。戦後は、タバコが中心になりましたが、今でもコンロやスミなどを扱っています。コンロ、最近、キャンプなどで重宝がられ、夏によく売れることごと。コンロは、ずっと同じ店屋から仕入れてます。今は車ですが、昔は周屋のおじいさんが、浅草から大八車で持ってきてました。三橋さん。屋根以外は建築当時のままという店のたたずまいは、何が懐しく、あたたかい。

ART



加藤さんと鎌田さんが人形づくりを始めたのは10年前。人の真似ではない独自の人形づくりが二人の目標。この間、満足できるものになるまで5年かかりました。今では作品がコンクールに入賞したり、商品としてデパートなどに置かれるなど、その実力は折り紙つき。二人の目指す人形は「やわらかく、やさしくかへて」

加藤忠世さん(芝山5・左) 鎌田順子さん(西習志野2・右)

〇から始めた人形作り 二人だからできたんです

あたたかみのある抱き人形。フランス語で「わらわ」という意味の「モル」という名前がつけられています。人形の生命は全体のバランスと顔。特に顔づくりに一番神経が使われ、二人で開発した沢山の企業秘密がかかれています。今年の秋には10周年を記念した展示会を開く予定で、現在はその製作の真最中です。



WE ARE IN FUNABASHI

日本の着物は世界一ですね

阿曾ハナさん (夏見台4) —チェコスロバキア出身—



「日本の食物は好きですが、納豆みたいなネバネバしたものは、嫌い」という阿曾ハナさんは、船橋に住んで6年。チェコスロバキアに留学していた「主人」と知り合っ、15年前に結婚。現在は、小学校3年の太郎君と3人家族ですが、日本の生活は8年になります。最初は、文化の違いからか、とまどうことも度々あったとか。

趣味は裁縫と読書。「日本ではジャストサイズの服がないので、ブラウスなどは自分で縫います。」とハナさん。特に、古い和服をリフォームしたブラウスは見事の一言。ハナさんの素晴らしい感性がうかがわれます。太郎君のしつけの話になると、厳しいお母さんの顔に、梅雨だけは苦手というハナさん。涼しげな瞳が印象的でした。



7月16日、宮本公民館三百人劇場で手作りの音楽会「夏の夜のハーモニー」が行われました。

スポーツで健康かなばしっこんにちは



去る7月23日、24日開催された船橋産業まつりは、あいにくの曇り空にもかかわらず市内5会場に延べ118万人の人々が詰めかけにぎわいました。写真は、23日のジョイ・アンド・ショッピングフェア会場での大橋和夫市長とミスふなばし、ミスざんかの皆さん。

“日本一の防災訓練”
 9月1日「防災の日」に高瀬町運動広場
 で6都県市合同防災訓練が実施されます。
 ぜひご参加を!!



毎週金曜日に、町会内の清掃作業を行っているみゆき老人クラブの皆さん。(薬台台松風児童遊園)



県大会を制覇し全国大会に出場のママさんバレーボールチーム「習志野台クラブ」のメンバーを激励する大橋和夫市長。



みやぎ台4丁目に「八木が谷緑地」が誕生しました。溜池だった国有地を市が無償で借り受け、緑化宝くじの収益の一部を利用して整備したもので、9900㎡の敷地内には、イヌシデやコナラなどの雑木を中心に343本の樹木が植えられ、散歩する人々に安らぎとうるおいを与えています。